



杉材の柱と梁で構成される店内
木の香りと温もりが心地よい空間に仏壇が展示される



唐木仏壇の展示
椅子が要所毎に置いてあり高齢者には嬉しい心配りの店内



2階から1階を見下ろす
広々とした空間が仏壇展示を引き立てる



2階の金仏壇展示 根強く金仏壇が販売される商圈だ

松尾仏具本店春日店 木の香りと温もりが心地よい店内 2月3日オープン (福岡県春日市)



松尾仏具本店春日店 オープン時から好調な出足だ



夜10時まで店内照明が灯ることで、仏壇店としての存在感をアピール
店内照明はたくさんの人が松尾仏具本店を知る仕掛けになる

松尾仏具本店(松尾淳也社長)は2月3日、福岡県春日市に春日店をオープンさせた。春日店は福岡市の南に位置し、オープンした場所は春日中央通りと春日大通りが交差する光交差点を目前にした交通至便な立地だ。

店舗は一階二階合わせて百坪で、店舗内に入ると、杉材の柱と梁が交わる、明るく開放感のある空間が広がる。柱や梁に杉材を用いたのは「日本古来の材料で、お仏壇を展示するのにふさわしい空間を作りたかったから。杉材をふんだんに用いることで、店内には杉の香りが漂い、また温もりも演出できます」と松尾社長は語る。

店舗一階では都市型仏壇と唐木仏壇、線香・ローソク・珠数などが展示される。展示台の背後には間接照明が埋め込まれ、仏壇の下部を柔らかい光で包み込み、上からの照明と合わせて仏壇の存在を引き立たせる。

接客コーナーは店舗の奥まった所にあり、木に囲まれた落ち着いた雰囲気とお客様の気持ちを安らげる。二階では金仏壇と唐木仏壇の展示が行われ、吹き抜け部分から見下ろすと杉材の柱と梁が巡る店舗全体を見渡せる。

店舗前面はガラスばかりで、夜10時まで店内には照明が入るために、店舗前の幹線道路を通る車からも中の様子がよく見える仕掛けになっている。夜になると店舗内が見えることで、仏壇店としての存在感を示している。

オープンセールから仏壇成約は好調。店長の相良勲氏は入社七年目で春日店オープン前は久留米店に勤務していた。「福岡市近郊ということでも都市型仏壇の売れ行きが良いですね」と語る。

取材中も線香などをお買い求めになるお客様の来店が多く、はやくも地元に着し始めている。

◎松尾仏具本店春日店 春日市若葉台西二一七 TEL 092-(五八二)五六二二



杉材の列柱に囲まれた空間
奥には接客テーブルとレジがある



都市型仏壇の展示
背面に並ぶ杉材が後背部展示とのしきりになっている



仏具類の展示



展示台の照明 仏壇の裾を照らし出す